

開発手順フローチャート(工程図)

①食器の基礎設計(食器の種類、寸法、容量、模様等)

例)
 種類: 楕円皿 寸法: 190×120×30
 容量: 満水350ml 模様: 全体「そぎ」調

基礎設計図面

基礎設計図面は、楕円皿の寸法、容量、および「そぎ」調の模様を詳細に示しています。図面には、寸法(190×120×30)、容量(満水350ml)、および模様(全体「そぎ」調)が記載されています。また、材料仕様や製造条件も明記されています。

②陶芸作品の製作

この工程では、陶芸作品の製作が行われます。粘土を成形し、最終的に完成した陶器作品が得られます。

③三次元測定、立体形状の取得

この工程では、三次元測定機を使用して、陶器作品の立体形状を取得します。取得されたデータは、点の集合体として表示されます。

⑥金型製作、樹脂成形

この工程では、金型を使用して樹脂成形が行われます。最終的に完成した樹脂成形品が得られます。

⑤形状修正

拡大率変更(寸法調整)、
高台、水切りの追加

この工程では、3Dモデルの形状を修正します。拡大率の変更(寸法調整)、高台の追加、水切りの追加などが行われます。

④三次元CADデータ(パソコンにて編集可能なデータ)に変換

点の集合体
変換
面

この工程では、3D測定データ(点の集合体)を、パソコンにて編集可能な3D CADデータ(面)に変換します。